

# 西小だより



学校の教育目標:よく考え 仲間とともに やりぬく子 合い言葉 "Yes, we can."

## 夢や目標に向かって歩み続ける 1年に

校長 岩崎 千宏

明けましておめでとうございます  
本年もどうぞよろしく願いいたします

年が明けて、年度の締めくくりとなる3学期がいよいよスタートしました。それぞれのご家庭におかれましては、きっとよいお正月を過ごされたことと存じます。2学期の終盤は風邪やインフルエンザが広がって心配をしましたが、徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。朝晩の冷え込みが厳しい日が続きますので、引き続きお子様の体調管理には十分ご留意いただきますようお願いいたします。

さて、昨日の始業式では、5名の代表児童が「新年の決意や3学期の目標」を力強く語ってくれました。「縄跳びをがんばりたい」「文章を書く力をさらに伸ばしたい」「学級の仲間への声かけや励ましを大切にしたい」・・・といった具体的な願いを堂々と語る姿に頼もしさを感じました。年や学期の節目にこうした決意や目標をもつことには、次のような意味があります。

- これまでの自分、現在の自分を見つめ直さないと自分の課題が明確になりません。目標をもつことで、自らの姿や心に目を向けて考えられる子になります。
- 自分の夢、決意や目標に向けて、今の自分から一歩踏み出そうとする「勇気や活力」を生み出します。
- わずかでも自らの成長や変容に気づくと、「努力すればできるんだ」という「自信や誇り」がもてる子になります。



夢や目標に近づくためには、小さな目標設定を積み重ねていくことが大切なポイントです。例えば、生活習慣を高めようという人は、「靴そろえ」や「大きな声であいさつ」から、学習をがんばろうと考えている人は「いつもより5分余分に机に向かう」といった小さなステップで改善を進めていくと、夢や目標に近づけられると思います。ご家庭におかれましては、お子様が「がんばろう」としていることに対して、励ましの言葉やアドバイスをいただくと、それがお子様にとっての大きな力になっていきます。

3学期は、次年度の「0学期」とも呼ばれる学期です。私たち職員も、次年度のスタートにちなげられる姿をめざして、心新たに精進する覚悟です。昨年に引き続き、変わらぬご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

